

「工場探検隊」

9/26(金)3年生が工場見学に行ってきました。こども服を製造している小林メリヤスさんです。

最初に、服に使われる『糸』に種類があること、それらを使い分けて編んでいることを教えてもらいました。肌着などに使われる綿、寒い季節に使われる上着などは羊やうさぎの毛などからできているそうです。

実際に工場の中を見学です。大きな機械が動き、多くの人が働いているのが分かりました。コンピューターを使った柄のデザインと目で追いかげられないほどの速さで布が機械で編まれています。型紙を使った裁断や特別なミシンによる縫製が人の手でおこなわれています。この服を着る赤ちゃん、こどものことを思い、丁寧に、安全に作られていると感じました。

「赤ちゃんが初めて着る服です。購入してくれるお客様のために1枚1枚大切に作っています。」説明していただいた社長さんの言葉です。

